

**製品名: PPP1R1C ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab16426**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	IHC, ICC/IF, ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率 IHC 1:100-1:300, ICC/IF 1:50-1:200, ELISA 1:5000-1:20000

分子量

**抗原情報**

遺伝子名	PPP1R1C
別名	PPP1R1C; Protein phosphatase 1 regulatory subunit 1C; Inhibitor-5 of protein phosphatase 1; IPP5
遺伝子 ID	151242.0
SwissProt ID	Q8WV17
免疫原	抗血清はヒト PPP1R1C 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 5-54

**背景**

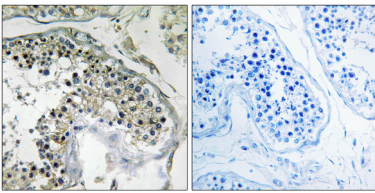
タンパク質ホスファターゼ 1 (PP1) は、様々な細胞機能を制御する主要なセリン/スレオニンホスファターゼです。PP1 は、触媒サ

ブユニット (PPP1CA; MIM 176875 参照) と、PP1 の細胞内局在を決定したり、その機能を制御したりする制御サブユニットで構成されています。PPP1R1C は、リン酸化によって制御される PP1 阻害サブユニットのグループに属します (Wang et al., 2008 [PubMed 18310074]) 。 [OMIM 提供、2010 年 2 月],機能: タンパク質ホスファターゼ 1 の阻害剤。類似性: タンパク質ホスファターゼ阻害剤 1 ファミリーに属する。 ,

## 研究分野

-

## 画像データ



PPP1R1C 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト精巣組織の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした状態。